資料１

札幌市新まちづくり計画　第１回共生・地域づくり分科会（H15.12.8）における議論の整理（キーワード）

（※このシートの内容は、各委員の発言を整理・要約したものであり、市民会議全体としての意見ではありません）

現状と課題の認識

＜課題１＞ 地域の中での子どもと子育てを支え合う場をつくる！

- 子どたちを地域の中で育てる場・取り組みが必要
- むくどりホームの取組みを次代に受け継ぎたい
- さまざまな人が集まれるふれあいの場が必要
- 孤立している母親たちを支える場・取組みが必要
- 地域の中で人と人のつながりを深めることが大切
- 子育てをしながら働く人を具体的に支援する方策を

高齢者の介護を支える視点

＜課題２＞ 障がいのある子どもたちが地域の中でいきいきと暮らせる仕組みをつくる！

- 障がいのある子どもを持つ母親の就労は困難
- 障害のある子どもたちの学童保育の場が不足
- 民間の共同学童保育所の活動をもっと支援すべき
- 障害のある子供たちは家に閉じこもることが多い
- 障害のある子供たちを地域で支える仕組みが必要
- 公共の児童クラブが無料なのはアンバランスな政策

高齢者の参加，人材活用の視点

＜課題３＞ 住民が主体となってまちを守り育てる取組みを広げる！

- 住民が自ら汗をかき地域づくりに取組むことが基本
- 町内会加入率の低下は地域にとって大きな問題
- 地域活動に参加していない人にきっかけをつくる
- 防災対策、環境維持のために住民参加は不可欠
- 災害時のための地域活動（町内レスキュー隊）
- 地域の中の人材や活動をどう結んでいくかが重要

取組みのキーワードと方向

情報

＜取組１＞ 地域活動、福祉活動に取り組んでいる人たちが利用しやすい身近な情報拠点をつくろう！

- きめ細かな情報提供・ニーズ把握の窓口を強化
- 相談・問題解決・支援のためのネットワークづくり
- 地域の中に身近な情報拠点・相談拠点を設ける
- 障がいのある人たちへの情報提供の工夫を
- 視覚障がい・知的障がい者への情報提供が課題
- 地域の情報窓口の充実、音声による情報提供など

人材

＜取組２＞ 地域のコーディネータを育てよう！

- 青少年育成のための人材コーディネーターを育成
- 看護士など地域の人的資源をうまく引き出す
- 公共施設を地域づくりの活動拠点にする

若者

＜取組３＞ 若者が参加する場をつくろう！

- 地域の福祉活動を若者たちの働く場に
- 若者や青少年がボランティア活動に取組む場を
- 地域の中に若者や青少年のたまり場をつくる

NPO

＜取組４＞ 地域で活動するNPOを育てよう！

- 市民主体のNPOを支援する具体的な取組みを
- 地域の空家を活動スペースとしてうまく活用する
- 公共スペースを活用してNPO活動の情報を発信

健康

＜取組５＞ 健康づくりのための取組みを！

- 医療問題、国保問題を組み込んでいく必要がある
- 医療機関と連携して健康維持・生活習慣病対策を
- 情報提供・相談・アドバイス・健康づくりの場を設ける

検討課題

具体的な目標値を想定して具体的な方策を示していくことが必要